

令和元年度 事務事業評価シート

No. 6021 01

Table with columns for project name (商業活性化推進事業), period, budget, and objectives. Includes details on funding and implementation methods.

Table showing financial breakdown by category (A-D) and fiscal year (Heisei 29, Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3).

Table for performance indicators (目標) with columns for target name, unit, and performance values for each year.

Activity results and evaluation section. Includes a 5-point scale for activity results, a table for unit costs, and a table for subsidy recipients.

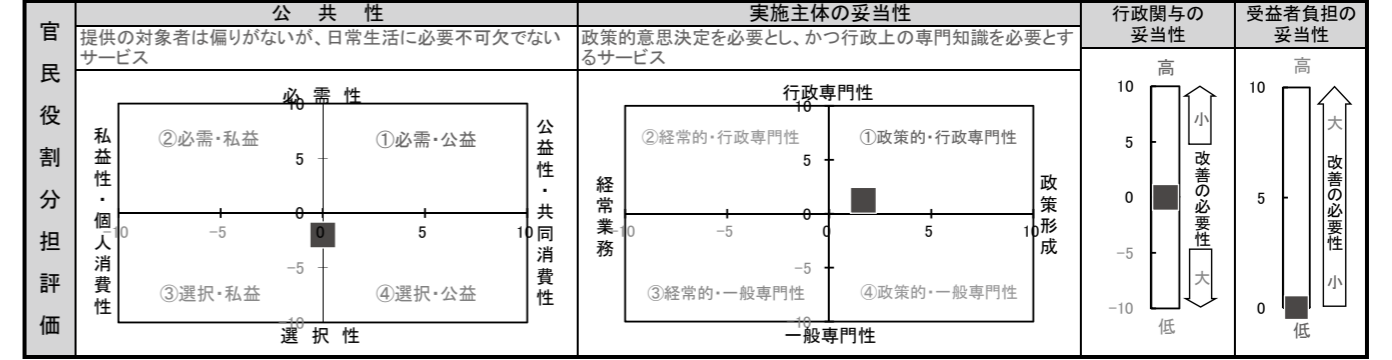


Table for 'Business Appropriateness' (事業性) and 'Evaluation' (評価) with checkboxes for various criteria and a 'Reason for Evaluation' (評価判断理由) section.

Table for 'Improvement' (改善) and 'Future Policy' (今後の方針) with checkboxes for implementation status and future directions.

Table for 'Secondary Evaluation' (二次評価) with checkboxes for future policy and a 'Reason' (説明) section.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 6021 02

Table with columns for project name (工業団体支援事業), period, nature, and various administrative details like budget and execution methods.

Table showing financial breakdown by category (A, B, C, D) with columns for budget, actuals, and planned amounts for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

Table for target setting (目標設定) with columns for target name, unit, and performance metrics for fiscal years 2019, 2020, and 2021.

Table for performance evaluation (業績評価) including activity results, achievement rates, and a main evaluation section with a small chart.

Table for public and implementation body appropriateness (官民役割分担評価) with two charts: one for public necessity and one for implementation body appropriateness.

Table for appropriateness (事業性) with columns for role division, target, and intention, and a section for evaluation reasons.

Table for improvement (改革改善) with columns for current status and future strategies.

Table for evaluation dates (評価) with columns for primary and secondary evaluation dates and responsible parties.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 6021 04

Table with columns for project name (商工会支援事業), period, nature, and various evaluation criteria like '関係付け' and '実施計画'.

Table with columns for '区分', '区 分', and financial data for '平成29年度', '平成30年度', '令和元年度', '令和2年度', and '令和3年度'.

Table with columns for '区分', '指標名(上段)', '計算式・説明(下段)', and '実績値' for various indicators like '会員事業所数'.

Table with columns for '区分', '評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)', and '平成29年度' to '令和元年度' with a '成果・効率性向上度のポジション' chart.

Table with columns for '官民役割分担評価' and '実施主体の妥当性' with charts for '必要性' and '行政専門性'.

Table with columns for '区分', '評価', and '評価判断理由(特記事項)' for '事業性' and '有効性'.

Table with columns for '改革改善' and '事業の方針' with checkboxes for implementation status and future directions.

Table with columns for '二次評価' and '説明' with checkboxes for '現状のまま継続' and '改善のうえで継続'.

令和元年度 事務事業評価シート

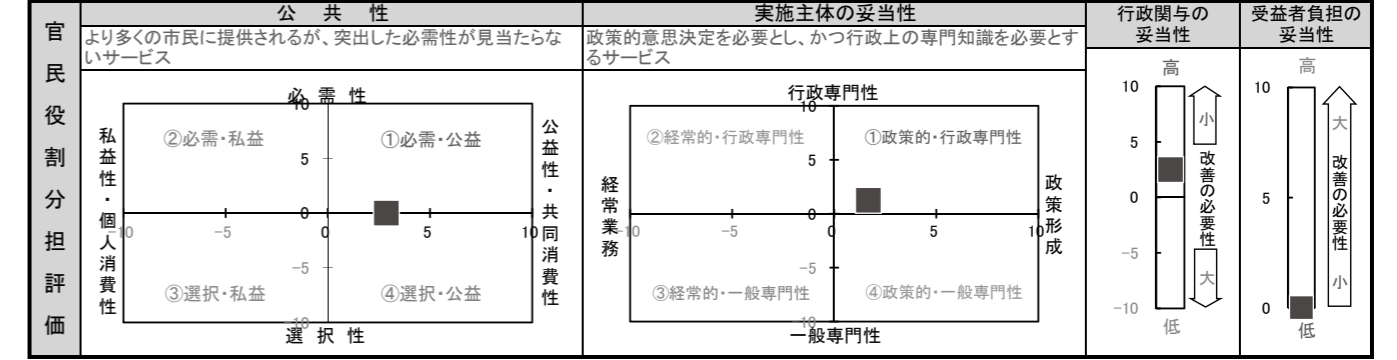
No. 6021 06

基 本 事 項 表. 事務事業名: 観光団体支援事業. 所管部署名: 産業振興部 商工課 商工観光係. 事業期間: 昭和62年度 ~ 未設定. 事業年齢: 32歳. 事務事業の性質: 毎年繰り返し. 直接事業費: 有.

投 入 資 源 表. 区分: A ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計. B ⑥ 国庫支出金, ⑦ 県支出金, ⑧ 市債, ⑨ その他, ⑩ 受益者負担額. C 吉川市年間負担経費(A-B). D 補助・単独区分.

目 標 設 定 実 績 表. 区分: 対象指標, 活動指標, 成果指標. 指標名(上段): よしかわ観光協会会員数. 計算式・説明(下段): 総会時における観光協会会員数. 実績値: 113, 120, 121.

業 績 評 価 表. 区分: 目標達成度, 成果達成度, 効率性, 主 要 な 取 組. 評価指標名(上段): ① 観光協会補助金. 指標の性質(下段): 増加することが良いとされる指標. 平成29年度: 100.00%. 平成30年度: 100.00%. 令和元年度: 79.18%.



事 業 性 評 価 表. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意 図. 評価: 役割分担 [] 妥当 [] 要検討, 対象・手段 [] 妥当 [] 要検討, 意 図 [] 妥当 [] 要検討. 理由: 市が観光事業を主催する観光協会を支援することは、「まち」の活性化につながるため妥当である.

改 善 策 表. 区分: これまでの改善(検討)状況と内容, 課題と今後の改善策. 改善実施済 [] 検討中 [] 改善未実施 []. 課題と今後の改善策: 会員数増と事業拡大により自立した運営を目指す.

一 次 評 価 日: 令和2年5月28日. 一 次 評 価 責 任 者: 染谷 憲市. 二 次 評 価 日: 令和2年6月22日. 二 次 評 価 責 任 者: (Blank).

令和元年度 事務事業評価シート No. 6022 01

Table with columns for project name (雇用対策推進事業), period, budget, and evaluation details. Includes sub-sections for basic info, project details, and evaluation criteria.

Table showing financial breakdown by category (A: Direct costs, B: Indirect costs, C: Subsidies) with columns for fiscal years and budget/actual values.

Table of performance indicators (KPIs) with columns for target years and actual values. Includes indicators like population, employment, and job openings.



Table for performance evaluation with columns for indicators, target years, and achievement rates. Includes a 'Main Evaluation' section with detailed descriptions of activities.

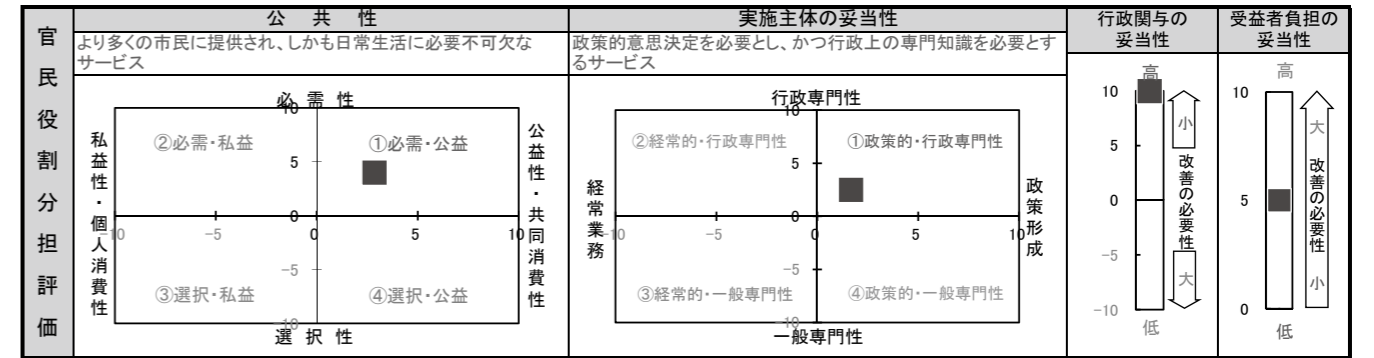


Table for 'Business Appropriateness' (事業の妥当性) and 'Evaluation' (評価) with columns for criteria and justification.

Table for 'Improvement' (改善) with columns for current status and future strategies.

Table for 'Future Direction' (今後の方針) with columns for continuation and improvement options.

Table for 'Secondary Evaluation' (二次評価) with columns for future direction and justification.

Table for 'Secondary Evaluation Date' (二次評価日) and 'Responsible Person' (評価責任者).

令和元年度 事務事業評価シート

No. 6021 07

Table with project details: 住宅改修費補助事業, 所管部署名 産業振興部 商工課 商工観光係, 事前評価日 令和元年5月27日, 事前評価責任者 櫻井 敬雄.

Table with financial data: 区分, 区 分, 平成29年度 決算(千円), 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 予算(千円), 令和元年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和2年度 当初(千円), 令和3年度 計画(千円).

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 計算式・説明(下段), 単位, 平成29年度 実績値, 平成30年度 実績値, 令和元年度 実績値, 令和2年度 計画(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値.

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション.

Table with public and implementation body appropriateness: 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性.

Table with project appropriateness and evaluation: 区分, 評価, 評価判断理由(特記事項).

Table with improvement status: 改革改善, 今後の方針, 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了.

Table with secondary evaluation: 二次評価, 今後の方針, 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 6021 08

事務事業名: ふるさと納税推進事業. 所管部署: 産業振興部 商工課 商工観光係. 事業期間: 平成22年度 ~ 未設定. 事業年齢: 9歳. 事務事業の性質: 毎年繰り返し. 直接事業費: 有. 事業名: ふるさと納税推進事業. 会計区分: 吉川市一般会計. 科目: 商工費, 商工費. 細目: 商工振興費, ふるさと納税推進事業.

投資入源. 区分: A, B, C, D. 区 分: ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥ 国庫支出金, ⑦ 県支出金, ⑧ 市債, ⑨ その他, ⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等). 令和元年度 予算(千円): 8,097. 令和元年度 決算(千円): 7,294. 増減額(千円): 2,981. 令和2年度 当初(千円): 10,325. 令和3年度 計画(千円): 10,325.

目標設定. 区分: 対象指標, 活動指標, 実績指標. 指標名(上段): 寄附者数, ふるさと納税制度で寄附を行った延べ人数, 返礼品提供事業者数, 返礼品を提供している事業者の数, 寄附金額, ふるさと納税制度による寄附金額, 返礼品の品目数, 寄附者が選択できる返礼品の数, 返礼品の送付件数, 寄附者に返礼品を送付した件数. 単位: 人, 事業者, 円, 件. 平成29年度 実績値: 1,700, 687, 25, 21, 40,000,000, 13,065,000, 100, 80, 1,790, 685. 平成30年度 実績値: 1,000, 589, 25, 26, 20,000,000, 11,209,354, 100, 98, 1,000, 584. 令和元年度 実績値: 1,000, 925, 30, 27, 20,000,000, 17,533,720, 120, 104, 1,000, 922. 令和2年度 計画(見込)値: 1,000. 令和3年度 計画(見込)値: 1,000.

業績. 区分: 活動結果, 成果結果, 効率性, 主. 評価指標名(上段)/指標の性質(下段): ① 寄附金額, ① 返礼品の送付件数. 平成29年度: 32.66%, 38.27%. 平成30年度: 56.05%, 58.40%. 令和元年度: 87.67%, 92.20%. 成果・効率性向上度のポジション: 大 成果向上度 小, 小 効率性向上度 大.

官民役割分担評価. 公共性: ① 必需・公益, ② 必需・私益, ③ 選択・私益, ④ 選択・公益. 実施主体の妥当性: ① 政策的・行政専門性, ② 経常的・行政専門性, ③ 経常的・一般専門性, ④ 政策的・一般専門性. 行政関与の妥当性: 高, 小, 大, 低. 受益者負担の妥当性: 高, 大, 小, 低.

事業性. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: ① 妥当, ② 要検討, ③ 妥当, ④ 要検討. 評価判断理由(特記事項): 市がふるさと納税を推進することは、郷土に愛着を持ってもらうとともに、市を広く周知することになり、地域の活性化につながるため妥当である.

改革改善. これまでの改善(検討)状況と内容: 改善実施済, 検討中, 改善未実施. 課題と今後の改善策: 平成30年度に寄附額に占める返礼品調達に係る割合を3割としたこと、令和元年度から市内に在る寄附には返礼品が支給されなくなったこと等から、引き続きふるさと納税による寄附の減少が懸念される。魅力ある返礼品を増やし、ポータルサイトを充実させることなどに努めていく。

事後評価. 今後の方針: 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. 二次評価日: 令和2年6月22日.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 6022 04

基 本 事 項 事務事業名 消費者相談事業 所管部署名 産業振興部 商工課 消費労政係 事前評価日 令和元年5月27日 事前評価責任者 櫻井 敬雄

投 入 資 源 区分 区 分 平成29年度 決算(千円) 平成30年度 決算(千円) 令和元年度 予算(千円) 令和元年度 決算(千円) 増減額(千円) 令和2年度 当初(千円) 令和3年度 計画(千円)

目 標 設 定 実 績 区分 指 標 名 (上段) 単 位 平成29年度 目標(見込)値 平成30年度 目標(見込)値 令和元年度 目標(見込)値

業 績 区分 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段) 平成29年度 平成30年度 令和元年度 成果・効率性向上度のポジション

官 民 役 割 分 担 評 価 公共性 実施主体の妥当性 行政関与の妥当性 受益者負担の妥当性

事 業 性 区分 評価 市民からの消費生活に関する相談や苦情を適正に処理し、消費者利益の保護などを行うことは妥当である。

改 善 改 善 これまでの改善(検討)状況と その内容 課題と 今後の改善策

一 次 評 価 日 令和2年5月28日 一 次 評 価 責 任 者 染谷 憲市

二 次 評 価 日 令和2年6月22日

令和元年度 事務事業評価シート

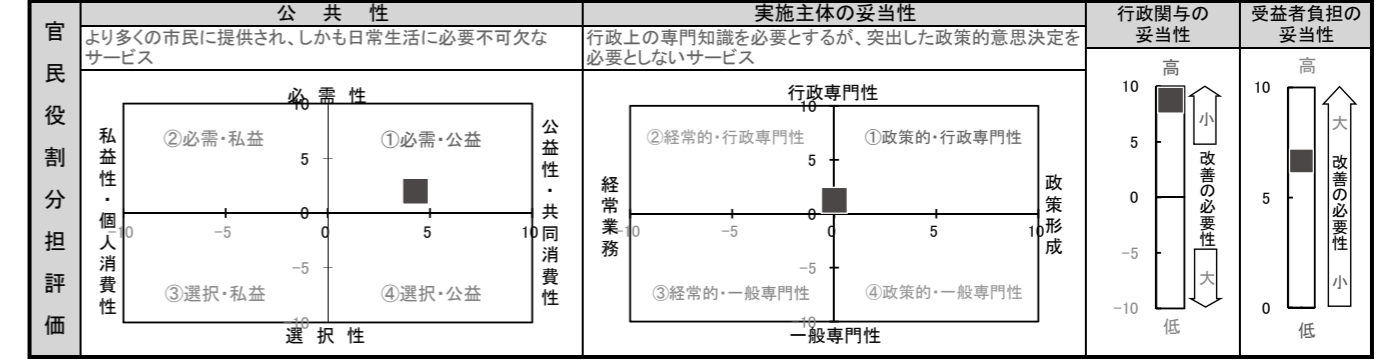
No. 6022 05

事務事業名: 消費者教育啓発事業. 所管部署名: 産業振興部 商工課 消費労政係. 事業期間: 平成9年度 ~ 未設定. 事業年齢: 22歳. 事業区分: 法定受託事務, 自治事務. 事務事業の性質: 毎年繰り返し. 直接事業費: 有. 関連付け: 有. まちづくり目標: 第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり(生活環境部門). 施策: 第11節 消費者保護の推進. 施策小項目: (1)消費者保護の充実. 第4期実施計画の位置付け: 有. 市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連: 有. 個別計画の位置付け: 有. 対象: 市民. 対象年齢: 0, 99 全年齢. 意図: 悪徳商法・契約トラブルなどの知識が得られ、被害の未然防止ができる.

投資入源表. 区分: A, B, C, D. 区別: ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥ 国庫支出金, ⑦ 国補助率, ⑧ 県支出金, ⑨ 県補助率, ⑩ 市債, ⑪ その他, ⑫ 受益者負担額(使用料・手数料等), ⑬ 受益者負担率(⑫÷⑤), ⑭ 吉川市年間負担経費(A-B), ⑮ 補助・単独区分. 令和元年度 予算(千円): 1,371. 令和元年度 決算(千円): 1,333. 増減額(千円): -50. 令和2年度 当初(千円): 1,159. 令和3年度 計画(千円): 1,159.

目標設定実績表. 区分: 対象指標, 活動指標, 成果指標. 指標名(上段): 市民総人口, 地域における見守りの目, 消費生活講座を受講した人数, 啓発回数(広報), 広報掲載回数, 出前講座の回数, 出前講座を開催した回数, 市内における消費者被害の発生件数, 吉川警察署が認知した件数, 消費生活センターの相談件数, 消費生活センターで受けた相談件数. 単位: 人, 回, 件. 平成29年度 実績値: 72,953, 20, 36, 6, 6, 6, 6, -, -. 平成30年度 実績値: 73,706, 30, 20, 6, 6, 6, 6, 9, 15. 令和元年度 実績値: 74,484, 20, 13, 6, 6, 6, 8, 15, 10. 令和2年度 計画(見込)値: 74,771, 20, 20, 9, 6, 6, 6, 15. 令和3年度 計画(見込)値: 71,813, 20, 20, 9, 6, 6, 6, 15.

業績評価表. 区分: 活動結果, 成果結果, 効率性, 主なもの, 取組. 評価指標名(上段)/指標の性質(下段): ② 啓発回数(広報), ② 消費生活センターの相談件数. 平成29年度: 100.00%, 100.00%. 平成30年度: 100.00%, 100.00%. 令和元年度: 150.00%, 108.85%. 令和2年度: 787,087, 475,997. 令和3年度: 475,997, 39.52%. 主なもの: 1 広報掲載 4月、5月、6月、7月、8月、10月、12月、2月、3月 計9回. 2 講座. 3 啓発 地域包括支援センターでの各種講座、市民まつり、各窓口での啓発グッズの配布.



事業性評価表. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: 妥当, 要検討. 評価判断理由(特記事項): 消費者被害にあわないため、消費者に対して啓発活動を市が行うことは妥当である. 有効性: 成果向上の余地, 上位施策への貢献度. 効率性: コスト改善の余地, 受益者負担の適正化余地.

改革改善表. これまでの改善(検討)状況と内容: 改善実施済, 検討中, 改善未実施. 課題と今後の改善策: 悪徳商法の手口は常に変化しており、最新の情報提供を市民へ行う必要がある. 今後の方針: 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. 「改善のうえで継続」の場合の展開方針: 拡大, 手段を改善(実施主体・手段の改善), 縮小, 効率化.

二次評価表. 区分: 今後の方針, 説明. 令和2年度 計画(見込)値: 74,771, 260. 令和3年度 計画(見込)値: 71,813, 260. 二次評価日: 令和2年6月22日.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7031 01

事務事業名: 道路台帳整備事業. 所管部署名: 都市整備部 道路公園課 管理係. 事業期間: 平成2年度 ~ 未設定. 事業年齢: 29歳. 事業区分: 法定受託事務, 自治事務. 事務事業の性質: 毎年繰り返し. 直接事業費: 有. 関連付け: 有. まちづくり目標: 第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門). 施策: 第3節 快適な道路網の充実. 施策小項目: (3)道路の維持管理の充実. 市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連: 有. 個別計画の位置付け: 有. 対象: 市道. 対象年齢: -. 意図: 市道の現状を台帳調査に整備することにより、その維持管理を明確にする.

投資入源表. 区分: A, B, C, D. 区別: ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥ 国庫支出金, ⑦ 国補助率, ⑧ 県支出金, ⑨ 県補助率, ⑩ 市債, ⑪ その他, ⑫ 受益者負担額(使用料・手数料等), ⑬ 受益者負担率(⑫÷⑤), ⑭ 吉川市年間負担経費(A-B), ⑮ 補助・単独区分. 令和元年度: 予算(千円) 14,500, 決算(千円) 13,090, 増減額(千円) -3,250, 令和2年度当初(千円) 15,294, 令和3年度計画(千円) 64,000.

目標設定実績表. 区分: 対象指標, 活動指標, 成果指標. 指標名(上段): 道路の延長, 道路の実延長(重用・未供用を除く), 道路の路線数, 道路総延長の路線数, 道路台帳の補正更新件数, 市道の認定、廃止、区域変更などの件数, 道路台帳閲覧等件数, 道路台帳資料の閲覧交付件数, 道路台帳補正更新延長, 市道延長の増減による補正更新の総延長. 単位: km, 路線, 件, m. 平成29年度: 550.00, 538.82, 2,739, 2,713, 96, 96, 2,200, 2,434, 2,700.00, 7,075.00. 平成30年度: 550.00, 541.39, 2,739, 2,734, 96, 134, 2,450, 2,471, 4,150.00, 2,523.20. 令和元年度: 541.51, 541.28, 2,736, 2,733, 104, 82, 2,500, 2,151, 4,149.50, 1,329.50. 令和2年度計画(見込)値: 542.00, 542.00, 2,736, 2,736, 104, 104, 2,500, 2,500, 4,149.50, 4,149.50. 令和3年度計画(見込)値: 542.00, 542.00, 2,736, 2,736, 104, 104, 2,500, 2,500, 4,149.50, 4,149.50.



業績評価表. 区分: 活動結果, 成果結果, 効率性, 主, 取組. 評価指標名(上段)/指標の性質(下段): ① 道路台帳の補正更新件数, ① 道路台帳補正更新延長. 平成29年度: 100.00%, 262.04%. 平成30年度: 139.58%, 60.80%. 令和元年度: 78.85%, 32.04%. 成果・効率性向上度のポジション: 大(コストの削減), 高(改善の維持継続), 小(コストの増加), 低(改善の見直し). 主な取組: 委託業務名: 道路台帳補正業務委託, 金額: 13,090,000円, 主な補正内容: 道路後退や道路境界が確定したものの道路占用許可、公共工事等で測定基因の変更に係るもの、航空写真、地番図.

官民役割分担評価表. 公共性: より多くの市民に提供されるが、突出した必要性が見当たらないサービス. 実施主体の妥当性: 政策的意決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス. 行政関与の妥当性: 高改善の必要性. 受益者負担の妥当性: 高改善の必要性. ① 必需・公益, ② 必需・私益, ③ 選択・私益, ④ 選択・公益. ① 政策的・行政専門性, ② 経常的・行政専門性, ③ 経常的・一般専門性, ④ 政策的・一般専門性.

事業性評価表. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: ① 妥当, ② 要検討. 評価判断理由(特記事項): 道路法第28条の規定により、道路管理者はその管理する道路の台帳を調整し、保管しなければならない。また、同法施行規則により、その記載事項に変更があったときは、速やかに、これを訂正しなければならない。有効性: 成果向上の余地: あり, 上位施策への貢献度: あり. 効率性: コスト改善の余地: あり, 受益者負担の適正化余地: あり.

改革改善表. これまでの改善(検討)状況と内容: 平成18年度に道路台帳閲覧手数料の改定を行った。平成27年度に公共基準点を日本測地系から世界測地系に移行し、台帳を電子化した。水路台帳の電子化が未実施である。課題と今後の改善策: 紙台帳の水路台帳の劣化が著しいことから、水路台帳を電子化にする必要がある。今後の方針: 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. 改善のうえで継続の場合の展開方針: 拡大, 手段を改善(実施主体・手段の改善), 縮小, 効率化. 「今後の方針」の説明(計画内容等): 市民サービスの向上や窓口業務の効率化を図るため、水路台帳の電子化を図る。

一次評価日: 令和2年5月28日. 一次評価責任者: 木村 克芳. 二次評価日: 令和2年6月22日. 二次評価: 今後の方針: 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. 改善のうえで継続の場合の展開方針: 拡大, 手段を改善(実施主体・手段の改善), 縮小, 効率化. 説明: 市民サービスの向上や窓口業務の効率化を図るため、水路台帳の電子化を図る。

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7012 06

Table with columns for project name (既存建築物耐震改修促進事業), period, nature, and detailed financial breakdown including personnel costs and materials.

Table showing budget and execution data for fiscal years Heisei 29, Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, and Reiwa 3, including direct costs and subsidies.

Table detailing performance indicators (KPIs) such as the number of seismic diagnosis cases, with target and actual values for each year.

Table for overall evaluation, including a comparison of performance between Heisei 30 and Reiwa 1, and a main evaluation section with descriptive text.

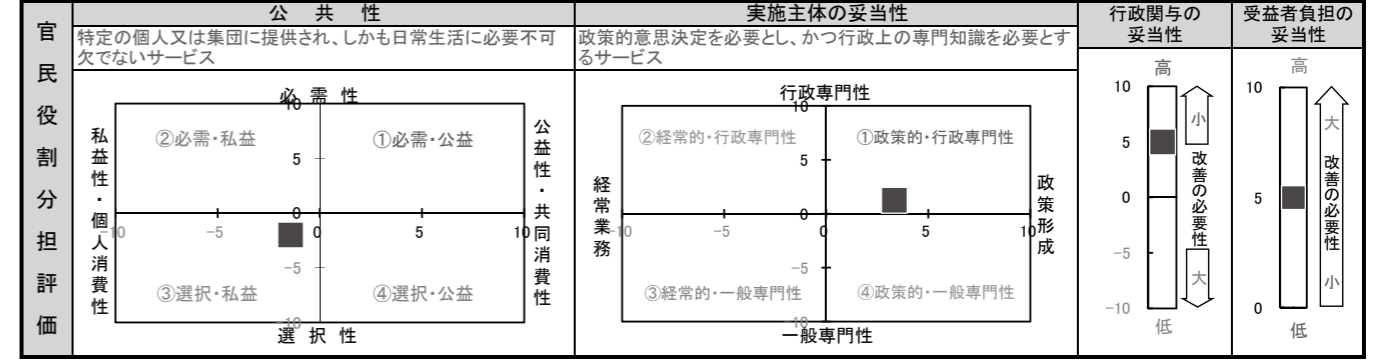


Table for '事業性' (Business Nature) evaluation, assessing the appropriateness of roles, methods, and intentions.

Table for '改革改善' (Reform/Improvement) evaluation, detailing the status of current reforms and future strategies.

Table for '事業の方向性' (Direction of Business) evaluation, including future directions and efficiency goals.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7031 02

Table with project details: 事務事業名 (まちづくり整備基準条例道路後退用地取得事業), 事業期間 (昭和59年度～未設定), 事業区分 (自治事務), 事業の性質 (毎年繰り返し), 事業名 (まちづくり整備基準条例道路後退用地取得事業), 会計区分 (吉川市一般会計), 科目 (土木費), 細目 (道路橋りょう総務費), 類似事業 (道路後退用地の取得), 対象 (宅地開発行為などにおける道路後退用地部分及びその土地所有者), 意図 (安全な道路として、幅員の確保が図れる).

Table with financial data: 区分 (A, B, C, D), 区別 (①直接事業費, ②人件費, ③間接経費(加算), ④コスト対象外(除外), ⑤トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥国庫支出金, ⑦県支出金, ⑧市債, ⑨その他, ⑩受益者負担額(使用料・手数料等)), 平成29年度決算(千円), 平成30年度決算(千円), 令和元年度予算(千円), 令和元年度決算(千円), 増減額(千円), 令和2年度当初(千円), 令和3年度計画(千円).

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 単位, 平成29年度目標(見込)値, 平成30年度目標(見込)値, 令和元年度目標(見込)値, 令和2年度計画(見込)値, 令和3年度計画(見込)値. Includes indicators for road extension, land acquisition, and cost reduction.

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション. Includes a chart showing '成果向上度' and '効率性向上度' with a '大' (Large) arrow indicating improvement.

Table with public and implementation body appropriateness: 官民役割分担評価. Includes two charts: '公共性' (Publicity) and '実施主体の妥当性' (Appropriateness of Implementation Body) with axes for '必要性' (Necessity) and '選択性' (Selectivity).

Table with project appropriateness and evaluation: 事業性 (役割分担, 対象・手段, 意図), 有効性 (成果向上の余地, 上位施策への貢献度), 効率性 (コスト改善の余地, 受益者負担の適正化余地).

Table with improvement status and future directions: 改革改善 (これまでの改善(検討)状況と内容, 課題と今後の改善策), 事業の方向性 (今後の方針, 改善のうえでの継続).

Table with review dates and responsibility: 一次評価日 (令和2年5月28日), 一次評価責任者 (木村 克芳), 二次評価日 (令和2年6月22日).

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7032 03

基 本 事 業 事 業 名 道路維持補修事業
所管部署名 都市整備部 道路公園課 工務係
事前評価日 令和元年5月27日 事前評価責任者 木村 克芳
事業期間 特定不可 ~ 未設定 事業年齢 -
事業区分 法定受託事務 自治事務
事務事業の性質 毎年繰り返し
直接事業費 有 無

投 入 資 源
区分 区 分
A ① 直接事業費 319,956 208,172 286,873 279,120 70,949 158,059 200,000
② 人 件 費 67,798 60,187 61,465 63,272 3,086 62,963 62,963
③ 間 接 経 費 (加算)
④ コスト対象外(除外)
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④) 387,755 268,358 348,338 342,393 74,034 221,022 262,963
B ⑥ 国庫支出金 39,600 4,598 45,700 45,700 41,102
⑦ 県支出金 3,900 3,900 3,900
⑧ 市 債 101,400 101,400 101,400 13,500
⑨ そ の 他
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)
C 吉川市年間負担経費(A-B) 348,155 263,760 197,338 191,393 -72,368 207,522 262,963
D 補助・単独区分 全額補助 一部補助 補助事業の上乗せ・横出しあり 吉川市単独

目 標 設 定 実 績
区分 指 標 名 (上段) 単 位
計 算 式 ・ 説 明 (下段)
平成29年度 平成30年度 令和元年度 令和2年度 令和3年度
目標(見込)値 実績値 目標(見込)値 実績値 目標(見込)値 計画(見込)値 計画(見込)値
① 市道の延長 km 550.00 550.00 541.51 542.00 542.00
② 道路の実延長(重用・未供用を除く) km 538.82 541.39 541.28
③ 全市民 人 72,953 73,706 74,484 74,771 74,813
④ 市民が道路を快適・安全に利用できるようになる。 72,450 72,877 30,668
① 道路パトロールの日数 日 102 102 101 103 103
② 道路パトロールの総日数 101 102 101
① 道路補修要望等処理率 % 85.00 85.00 85.00 85.00 85.00
② 対応件数/総要望件数×100 63.50 61.90 67.70

業 績
区分 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段) 平成29年度 平成30年度 令和元年度 成果・効率性向上度のポジション
① 道路パトロールの日数 99.02% 100.00% 100.00%
① 道路補修要望等処理率 74.71% 72.82% 79.65%
効率性 ① 道路パトロールの日数 2,630,964 3,390,026 28.85%
主 な 取 組
1 需用費 14,177,479円
2 役務費 351,513円
3 委託料 31,638,344円
4 使用料及び賃借料 1,048,182円
5 工事請負費 207,970,330円
6 原材料費 4,753,085円
7 備品購入費 1,441,447円
8 負担金補助及び交付金 17,453,000円
9 補償補填及び賠償金 143,647円
10 公課費 143,300円

官 民 役 割 分 担 評 価
公共性 実施主体の妥当性
行政関与の妥当性 受益者負担の妥当性
① 必需・公益 ② 必需・私益 ③ 選択・私益 ④ 選択・公益
① 政策的・行政専門性 ② 経常的・行政専門性 ③ 経常的・一般専門性 ④ 政策的・一般専門性

事 業 性 評 価
区分 評価
役割分担 妥当 要検討
対象・手段 妥当 要検討
意 図 妥当 要検討
有効性 成果向上の余地 あり なし
上位施策への貢献度 あり なし
効率性 コスト改善の余地 あり なし
受益者負担の適正化余地 あり なし

改 善 改 善
これまでの改善(検討)状況と内容
改善実施済 検討中 改善未実施
課題と今後の改善策
今後の方針
「改善のうえで継続」の場合の展開方針
「今後の方針」の説明(計画内容等)

一 次 評 価 日 令和2年5月28日 一 次 評 価 責 任 者 木村 克芳
二 次 評 価 日 令和2年6月22日

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7032 05

Table with project details: 交通安全施設整備事業, 都市整備部 道路公園課 工務係, 令和元年5月27日, 事前評価責任者 木村 克芳, 根拠法令等 道路法(昭和27年6月10日法律第180号), 執行方法 一部委託 工事発注等, 直接事業費 有, 事業名 交通安全施設整備事業, 会計区分 吉川市一般会計, 科目 土木費 道路橋りょう費, 目 道路維持費, 細目 交通安全施設整備事業

Table with financial data: 区分, 区 分, 平成29年度 決算(千円), 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 予算(千円) 決算(千円) 増減額(千円), 令和2年度 当初(千円), 令和3年度 計画(千円). Includes rows for ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計, ⑥ 国庫支出金, ⑦ 県支出金, ⑧ 市債, ⑨ その他, ⑩ 受益者負担額, 吉川市年間負担経費(A-B), 補助・単独区分

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 単位, 平成29年度 目標(見込)値 実績値, 平成30年度 目標(見込)値 実績値, 令和元年度 目標(見込)値 実績値, 令和2年度 計画(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値. Includes rows for 市道利用者, 総人口, 路面標示の工事実施延長, 路面標示の新設・修繕を実施した延長, 道路反射鏡工事実施箇所数, 道路反射鏡の新設・修繕箇所数, 交通事故数, 市内で発生した人身事故数, 死亡者数, 市内で発生した交通事故による死亡者数

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション. Includes rows for ① 路面標示の工事実施延長, ① 交通事故数, 効率性, 主なもの, 交通安全施設整備事業 26,241,535円, 1 需用費 2,055,560円, 2 工事請負費 24,185,975円

Table with public and implementation body appropriateness: 官民役割分担評価, 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性. Includes charts for ② 必需・私益, ① 必需・公益, ③ 選択・私益, ④ 選択・公益, ② 経常的・行政専門性, ① 政策的・行政専門性, ③ 経常的・一般専門性, ④ 政策的・一般専門性

Table with project appropriateness and effectiveness: 事業性, 有効性, 効率性. Includes rows for 役割分担, 対象・手段, 意図, 成果向上の余地, 上位施策への貢献度, コスト改善の余地, 受益者負担の適正化余地

Table with reform and improvement: 改革改善, 今後の方針. Includes rows for これまでの改善(検討)状況と内容, 課題と今後の改善策, 今後の方針

Table with evaluation dates and responsibility: 一次評価日, 一次評価責任者, 二次評価日, 二次評価責任者. Includes rows for 今後の方針, 説明

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7032 01

事務事業名: 道路改良事業. 所管部署名: 都市整備部 道路公園課 工務係. 事業期間: 特定不可 ~ 未設定. 事業年齢: -. 根拠法令等: 道路法(昭和27年6月10日法律第180号). 執行方法: 直営. 直接事業費: 有. 事業名: 道路改良事業. 会計区分: 吉川市一般会計. 科目: 土木費. 細目: 道路新設改良費. 道路改良事業. 類似事業: 都市計画街路整備事業. 業務プロセス(No.・名称): 70320101 道路改良工事, 70320102 道路新設工事. 前年度の事務事業有無・事務事業番号: 有 703201. 対象(誰を、何を): (直接の対象)市道(最終的な対象)市道を利用する市民. 対象年齢: 00 99 全年齢. 意図(対象にどのような状態になってほしいのか): 主要な生活道路を整備することにより、地域の利用者が安全に通行できる.

投資入源. 区分: A, B, C, D. 区別: ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥ 国庫支出金, ⑦ 国補助率, ⑧ 県支出金, ⑨ 県補助率, ⑩ 市債, ⑪ その他. 平成29年度決算(千円), 平成30年度決算(千円), 令和元年度予算(千円), 令和元年度決算(千円), 増減額(千円), 令和2年度当初(千円), 令和3年度計画(千円).

目標設定. 区分: 対象指標, 活動指標, 実績指標. 指標名(上段), 計算式・説明(下段), 単位, 平成29年度目標(見込)値, 平成30年度目標(見込)値, 令和元年度目標(見込)値, 令和2年度計画(見込)値, 令和3年度計画(見込)値. ① 未改良道路延長 (km), ② 道路利用者総人口 (人), ③ 道路改良地区 (地区), ④ 道路改良工事(舗装新設は除く)を行った地区 (件), ⑤ 道路改良工事発注件数 (件), ⑥ 道路改良工事を発注した件数(付帯工事除く) (件), ⑦ 道路改良工事延長 (m), ⑧ 道路改良工事(舗装新設工事含)の延長 (m).

業績. 区分: 活動結果, 成果結果, 効率性, 主, 取組. 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段). 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション. ① 道路改良地区. ① 道路改良工事延長. ② 道路改良工事発注件数. 道路改良事業費 70,909,323円. 1 需用費 104,304円. 参考図書代. 2 委託料 1,090,695円. 委託名, 委託場所, 委託費(円). 市道1-401号線用地測量業務委託, 上内川, 1,090,695. 3-1 工事請負費(道路改良工事費)9,084,900円. 工事名, 工事場所, 工事費(円), 工事延長(m). 市道3-408号線道路改良工事, 上笹塚三丁目, 2,178,000, 48.3. 市道1-401号線用地測量業務委託, 栄町, 6,906,900, 72.0. 合計, 9,084,900, 120.3. 3-2 工事請負費(舗装新設工事費). 該当工事無し. 4 負担金補助及び交付金 80,000円. 県道路協会負担金. (関東国道協会、埼玉県道路協会、埼玉地区用地対策連絡協議会).

官民役割分担評価. 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性. ① 必需・公益, ② 必需・私益, ③ 選択・私益, ④ 選択・公益. ① 政策的・行政専門性, ② 経常的・行政専門性, ③ 経常的・一般専門性, ④ 政策的・一般専門性.

事業性. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: 妥当, 要検討. 評価判断理由(特記事項). 役割分担: 妥当. 対象・手段: 妥当. 意図: 妥当. 有効性: 成果向上の余地あり, 上位施策への貢献度あり. 効率性: コスト改善の余地あり, 受益者負担の適正化余地なし.

改革改善. これまでの改善(検討)状況と内容. 改善実施済, 検討中, 改善未実施. 課題と今後の改善策. 今後の方針. 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. 拡大, 手段を改善(実施主体・手段の改善), 縮小, 効率化.

二次評価. 今後の方針. 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. 拡大, 手段を改善(実施主体・手段の改善), 縮小, 効率化. 説明. 二次評価日: 令和2年6月22日.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7032 04

Table with project details: 橋りょう長寿命化事業, 所管部署 都市整備部 道路公園課 工務係, 事業期間 平成25年度 ~ 未設定, 事業年齢 6歳, 事業区分 法定受託事務, 自治事務, 事務事業の性質 毎年繰り返し, 直接事業費 有, 関係付け 有, まちづくり目標 第4章 躍動・活力・賑わいのまちづくり(地域振興部門), 施策 第3節 快適な道路網の充実, 施策小項目 (3)道路の維持管理の充実, 市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連, 個別計画の位置付け 有, 計画名 橋梁長寿命化修繕計画, 対象 (誰を、何を) (直接の対象) 市道の橋長2.0m以上の橋梁 (最終的な対象) 橋りょうを利用する市民, 意図 (対象にどのような状態になってほしいのか) 橋梁の利用者が安全に利用できる.

Table with financial data: 区分, 区 分, 平成29年度 決算(千円), 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 予算(千円), 令和元年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和2年度 当初(千円), 令和3年度 計画(千円). Includes rows for ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計, ⑥ 国庫支出金, ⑦ 県支出金, ⑧ 市債, ⑨ その他, ⑩ 受益者負担額, 吉川市年間負担経費(A-B), 補助・単独区分.

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 単位, 平成29年度 目標(見込)値, 平成30年度 目標(見込)値, 令和元年度 実績値, 令和2年度 計画(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値. Includes rows for ① 橋梁数, ② 橋梁利用者, ③ 橋梁の点検調査実施数, ④ 橋梁の修繕数, ⑤ 橋梁長寿命化実施率, ⑥ 橋梁の修繕・架替実施済橋梁数.

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション. Includes charts for ② 橋梁の修繕数 and ① 橋梁長寿命化実施率, and a table for ② 診断判別橋梁数.

Table with public and implementation body appropriateness: 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性. Includes charts for ② 必需・私益, ① 必需・公益, ③ 選択・私益, ④ 選択・公益.

Table with project appropriateness and effectiveness: 区分, 評価, 評価判断理由(特記事項). Includes rows for 役割分担, 対象・手段, 意図, 成果向上の余地, 上位施策への貢献度, コスト改善の余地, 受益者負担の適正化余地.

Table with improvement and future directions: 改革改善, 今後の方針. Includes rows for これまでの改善(検討)状況と内容, 課題と今後の改善策, 今後の方針.

Table with evaluation dates and directions: 一次評価日, 二次評価日, 今後の方針. Includes rows for 一次評価日, 二次評価日, 今後の方針.

令和元年度 事務事業評価シート No. 7014 01

事務事業名: 吉川中央土地区画整理促進事業. 事業期間: 平成8年度 ~ 令和5年度. 事業区分: 自治事務. 事業の性質: 複数年度. 事業内容: 吉川中央土地区画整理促進事業. 評価者: 岡田 康幸.

投資入源表. 区分: A, B, C, D. 項目: ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計, ⑥ 国庫支出金, ⑦ 県支出金, ⑧ 市債, ⑨ その他, ⑩ 受益者負担額. 令和元年度予算: 3,575千円. 令和元年度決算: 3,575千円. 令和2年度当初: 8,500千円. 令和3年度計画: 22,509千円.

目標設定実績表. 区分: ① 使用収益開始面積, ② 地区面積74.8ha, ③ 事業の進捗率(事業費ベース), ④ 執行済み事業費/総事業費, ⑤ 事業の進捗率(使用収益開始面積ベース), ⑥ 使用収益開始面積/地区面積. 令和元年度目標: 61.50, 61.00, 90.00, 90.20, 82.20, 81.60. 令和元年度実績: 74.80, 68.60, 93.30, 92.20, 100.00, 83.30.

業績評価表. 区分: ① 付け保留地の売買契約締結の件数, ② 事業の進捗率(使用収益開始面積ベース). 令和元年度実績: 87.00%, 91.70%. 評価: 大. 成果・効率性向上度のポジション: 高改善.

官民役割分担評価表. 公共性: 高. 実施主体の妥当性: 高. 行政関与の妥当性: 高. 受益者負担の妥当性: 高. 2つのマトリックスグラフが示す評価結果.

事業性評価表. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: 妥当. 理由: 技術的支援及び補助金を交付することによる効果. 有効性: あり. 効率性: あり.

改革改善表. 内容: 吉川中央土地区画整理組合では、平成28年4月に事業計画変更(第6回)の認可を得て、事業の精査、資金計画の見直しを行い、事業期間、補助事業期間の延伸を行った. 今後の方針: 現状のまま継続.

事業の方向性評価表. 今後の方針: 現状のまま継続. 改善のうえで継続. 他事業に統合. 廃止・休止. 終了・完了. 拡大. 縮小. 効率化.

一次評価日: 令和2年5月28日. 一次評価責任者: 中村 喜光. 二次評価日: 令和2年6月17日. 二次評価: 今後の方針: 現状のまま継続.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7033 01

Table with project details: 公園維持管理事業, 所管部署名 都市整備部 道路公園課 公園緑地係, 事前評価日 令和元年5月27日, 事前評価責任者 木村 克芳, etc.

Table with financial data: 区分, 区 分, 平成29年度 決算(千円), 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 予算(千円), etc.

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 計算式・説明(下段), 平成29年度 実績値, etc.

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション

Table with public and implementation body appropriateness: 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性

Table with project appropriateness and evaluation: 区分, 評価, 役割分担, 対象・手段, 意図

Table with reform and improvement: 改革改善, これまでの改善(検討)状況と内容, 課題と今後の改善策

Table with future directions: 今後の方針, 現状のまま継続, 改善のうえで継続, etc.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 7032 02

Table with project details: 都市計画街路整備事業, 所管部署名 都市整備部 道路公園課 工務係, 事前評価日 令和元年5月27日, 事前評価責任者 木村 克芳.

Table with financial data: 区分, 区 分, 平成29年度 決算(千円), 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 予算(千円), 令和元年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和2年度 当初(千円), 令和3年度 計画(千円).

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 計算式・説明(下段), 単位, 平成29年度 目標(見込)値, 平成30年度 目標(見込)値, 令和元年度 実績値, 令和2年度 計画(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値.

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション.

Table with public and implementation evaluation: 官民役割分担評価, 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性.

Table with project evaluation: 区分, 評価, 評価判断理由(特記事項).

Table with improvement and future plans: 改革改善, 今後の方針, 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了.

Table with final evaluation: 一次評価日, 一次評価責任者, 二次評価日, 二次評価.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 5021 04

事務事業名: 減災対策事業. 所管部署名: 市民生活部 危機管理課 危機管理担当. 事業期間: 特定不可 ~ 未設定. 事業年齢: -. 事業区分: 法定受託事務, 自治事務. 事務事業の性質: 毎年繰り返し. 直接事業費: 有. 関連付け: 有. まちづくり目標: 第3章 うるおい・安心・快適なまちづくり. 施策: 第5節 災害に強いまちづくり. 施策小項目: (1)危機管理体制の充実. 市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連: 基本目標2『市民の幸福実感を追及する』. 個別計画の位置付け: 有. 地域防災計画. 対象: 市職員、関係機関、全市民、事業所など. 対象年齢: 00, 99 全年齢. 意図: 事業を実施することで市民や防災・減災関係機関、事業所等が一体となり災害対策体制を構築し、災害に備えることができる.

投資入源. 区分: A, B, C, D. 区別: ① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥ 国庫支出金, ⑦ 県支出金, ⑧ 市債, ⑨ その他, ⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等). 令和元年度 予算(千円): 12,162. 令和元年度 決算(千円): 11,288. 令和元年度 増減額(千円): -80,617. 令和2年度 当初(千円): 19,541. 令和3年度 計画(千円): 17,707.

目標設定. 区分: 対象指標, 活動指標, 成果指標. 指標名(上段): 市職員, 市職員(臨時職員を含まない), 全市民, 総人口. 計算式・説明(下段): 市職員, 市職員(臨時職員を含まない), 全市民, 総人口. 平成29年度 実績値: 418, 417, 72,953, 72,450. 平成30年度 実績値: 424, 415, 73,706, 72,877. 令和元年度 実績値: 417, 414, 74,484, 73,014. 令和2年度 計画(見込)値: 415. 令和3年度 計画(見込)値: 415.

業績. 区分: 目標達成度, 成果結果, 効率性, 主, 取組. 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段): ② 災害用非常食の購入. 平成29年度: 100.00%. 平成30年度: 100.00%. 令和元年度: 100.00%. 成果・効率性向上度のポジション: 大. 単位の単位: トータルコスト×1,000円. 単位の単位: 円/食. 平成30年度: 32,026. 令和元年度: 10,538. 単位当たりコスト: ② 災害用非常食の購入. 単位の単位: 円/食. 平成30年度: 32,026. 令和元年度: 10,538. 単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト-前年度単位コスト)÷前年度単位コスト: -67.10%. コストが減少している.

官民役割分担評価. 公共性: より多くの市民に提供され、しかも日常生活に必要な不可欠なサービス. 実施主体の妥当性: 経常業務の割合が高いが、行政上の専門知識を必要とするサービス. 行政関与の妥当性: 高. 受益者負担の妥当性: 高. 必要性: ② 必需・私益, ① 必需・公益. 行政専門性: ② 経常的・行政専門性, ① 政策的・行政専門性. 政策形成: ③ 経常的・一般専門性, ④ 政策的・一般専門性. 選択性: ③ 選択・私益, ④ 選択・公益. 一般専門性: ③ 経常的・一般専門性, ④ 政策的・一般専門性.

事業性. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: 役割分担: 妥当. 対象・手段: 妥当. 意図: 妥当. 評価判断理由(特記事項): 市民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、関係機関などの協力を得て、市の減災に関する計画を作成し、災害対策を行う市の役割、地域防災計画をもとに防災対策を進め、市民の生命と財産を守るという意図は妥当であると判断する.

改革改善. これまでの改善(検討)状況と内容: 改善実施済. 課題と今後の改善策: 避難所開設運営マニュアルの作成を推進し、地域、施設管理者及び市が協力して、より一層防災力を高める必要がある. 今後の方針: 現状のまま継続. 改善のうえでの継続. 他事業に統合. 廃止・休止. 終了・完了.

二次評価. 区分: 今後の方針, 説明. 評価: 今後の方針: 現状のまま継続. 改善のうえでの継続. 他事業に統合. 廃止・休止. 終了・完了. 説明: より多くの避難場所を確保するため、民間施設を利用した一時避難場所の確保に向け、市内事業所との協定締結を目指す.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 5021 05

Table with project details: 防災無線整備事業, 所管部署名 市民生活部 危機管理課 危機管理担当, 事業期間 平成5年度 ~ 未設定, 事業年齢 26歳, 根拠法令等 災害対策基本法、電波法, 執行方法 直営, 直接事業費 有, 事業名 防災無線整備事業, 会計区分 吉川市一般会計, 科目 消防費, 減災費, 減災対策事業.

Table with financial data: 区分, 区 分, 平成29年度 決算(千円), 平成30年度 決算(千円), 令和元年度 予算(千円), 令和元年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和2年度 当初(千円), 令和3年度 計画(千円). Includes rows for direct costs, personnel, and subsidies.

Table with performance indicators: 区分, 指標名(上段), 単位, 平成29年度 目標(見込)値, 平成30年度 目標(見込)値, 令和元年度 目標(見込)値, 令和2年度 計画(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値. Includes rows for disaster radio maintenance and public opinion.

Table with evaluation results: 区分, 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション. Includes charts for cost reduction and efficiency improvement.

Table with public and implementation body appropriateness: 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性. Includes charts for necessity and policy formation.

Table with appropriateness and evaluation: 区分, 評価, 評価判断理由(特記事項). Includes rows for role division, target/measures, and intent.

Table with improvement status: 改革改善, 今後の方針, 現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了. Includes rows for current status and future plans.

Table with evaluation dates and responsibility: 一次評価日, 一次評価責任者, 二次評価日, 二次評価責任者. Includes dates and names.

令和元年度 事務事業評価シート

No. 5021 07

Table with project details: 事務事業名 (水防体制充実事業), 所管部署名 (市民生活部 危機管理課 危機管理担当), 事業期間 (特定不可 ~ 未設定), 事業年齢 (-), 根拠法令等 (水防法、災害対策基本法), 執行方法 (直営), 直接事業費 (有), 事業名 (水防体制充実事業), 会計区分 (吉川市一般会計), 科目 (消防費, 減災費), 細目 (減災対策事業), 類似事業 (有), 地域防災計画 (有), 対象 (0, 99 全年齢), 手続 (どの様な事業を行うのか), 事務事業を取巻く環境の変化・実施上の課題.

Table with financial data: 区分 (A, B, C, D), 区 分 (① 直接事業費, ② 人件費, ③ 間接経費(加算), ④ コスト対象外(除外), ⑤ トータルコスト計(①+②+③-④), ⑥ 国庫支出金, ⑦ 国補助率, ⑧ 県支出金, ⑨ 県補助率, ⑩ 市債, ⑪ その他, ⑫ 受益者負担額(使用料・手数料等), ⑬ 受益者負担率(⑫÷⑤), 吉川市年間負担経費(A-B), 補助・単独区分 (全額補助, 一部補助, 補助事業の上乗せ・横出しあり, 吉川市単独).

Table with performance indicators: 区分 (対象指標, 活動指標, 成果指標), 指標名 (上段), 計算式・説明 (下段), 単位, 平成29年度 (実績値), 平成30年度 (実績値), 令和元年度 (実績値), 令和2年度 (計画(見込)値), 令和3年度 (計画(見込)値).

Table with evaluation results: 区分 (活動結果, 成果結果, 効率性), 評価指標名(上段) / 指標の性質(下段), 平成29年度, 平成30年度, 令和元年度, 成果・効率性向上度のポジション. Includes charts for '大 成果向上度' and '小 効率性向上度'.

Table with public and implementation appropriateness: 公共性, 実施主体の妥当性, 行政関与の妥当性, 受益者負担の妥当性. Includes charts for '必要性' and '行政専門性'.

Table with evaluation reasons: 区分 (妥当性, 有効性, 効率性), 評価 (役割分担, 対象・手段, 意図), 評価判断理由(特記事項).

Table with improvement and future plans: 改革改善 (これまでの改善(検討)状況と内容, 課題と今後の改善策), 事業の方針 (現状のまま継続, 改善のうえで継続, 他の事業に統合, 廃止・休止, 終了・完了).

Table with secondary evaluation: 二次評価 (今後の方針, 説明), 二次評価日 (令和2年5月28日, 令和2年6月22日), 二次評価責任者 (島田 勝三).

令和元年度 事務事業評価シート

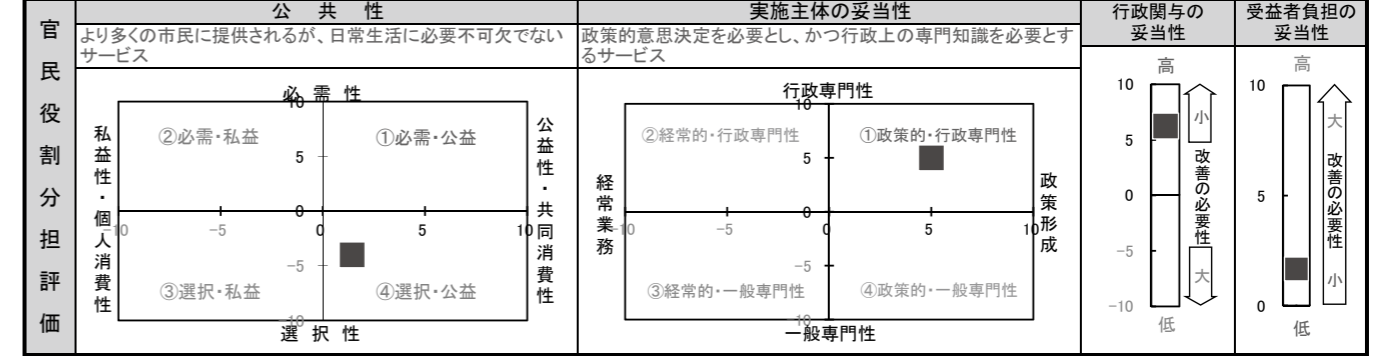
No. 5021 09

事務事業名: 空家等対策事業. 所管部署名: 市民生活部 危機管理課 危機管理担当. 事業期間: 平成27年度 ~ 未設定. 事業年齢: 4歳. 事務事業の性質: 毎年繰り返す. 直接事業費: 有. 手続: 空家等対策協議会の開催回数, 空家の管理改善率, 空家の適正管理の通報に対する対応率.

投資入源表. 区分: A (直接事業費), B (国庫支出金), C (吉川市年間負担経費). 令和元年度 予算(千円): 165, 令和元年度 決算(千円): 41, 令和2年度 当初(千円): 111, 令和3年度 計画(千円): 111.

目標設定実績表. 指標名(上段): 市内における地域で問題になっている空家の数. 単位: 件. 平成29年度 実績値: 100, 平成30年度 実績値: 100, 令和元年度 実績値: 31, 令和2年度 計画(見込)値: 100, 令和3年度 計画(見込)値: 100.

業績評価表. 区分: 活動結果, 成果結果, 効率性, 主眼. 評価指標名(上段): 空家等対策協議会の開催回数, 空家の管理改善率, 空家の適正管理の通報に対する対応率. 平成29年度: 100.00%, 平成30年度: 100.00%, 令和元年度: 50.00%.



事業性評価表. 区分: 役割分担, 対象・手段, 意図. 評価: 妥当, 要検討. 評価判断理由(特記事項): 空家等対策の推進に関する特別措置法の施行により、国、県、市町村、民間の役割分担が定められており、妥当である。

改革改善表. これまでの改善(検討)状況と内容: 改善実施済. 課題と今後の改善策: 空家等対策計画に基づき、自治会、シルバー人材センターとの協働により空家の見守り活動の展開や、リフォーム、土地建物の売買、賃貸物件としての活用、解体など民間団体との協力により空家を生み出さない体制の構築を図る。

一次評価日: 令和2年5月28日. 一次評価責任者: 島田 勝三. 二次評価日: 令和2年6月22日.